

令和8年

壱岐市議会定例会3月会議

# 施政方針

壱岐市

# 目 次

○ はじめに	1
（1）令和7年度壱岐市長表彰の実施	1
（2）組織機構の見直し	2
（3）有人国境離島法の延長・改正に向けた取組	3
（4）エンゲージメントパートナー制度の取組	3
<b>基本目標1. 希望の仕事があり稼ぐ力がある島</b>	
（1）農林業の振興	4
（2）農地基盤の整備	5
（3）水産業の振興	6
（4）港湾・漁港の整備	7
（5）商工業の振興	7
（6）雇用の創出	8
<b>基本目標2. すべての市民が自分らしく安心して健康に暮らせる島</b>	
（1）健康・医療体制づくりの推進	9
（2）高齢者福祉の充実	10
（3）障がい者福祉の充実	11
（4）地域共生社会の実現	12
（5）持続可能なコミュニティの形成	12
<b>基本目標3. 未来を育む子育てと学びの島</b>	
（1）学校給食費の無償化	13
（2）学校教育の充実	13
（3）こども誰でも通園制度の実施	14
（4）妊娠・出産支援	15
（5）婚活支援	15
（6）壱岐市立郷ノ浦図書館の移転	16
<b>基本目標4. 地域の価値と新しい人の流れが未来をつくる島</b>	
（1）カルチャーターミナル壱岐プロジェクトの推進	16
（2）文化・スポーツの振興	17
（3）歴史文化資源の保全・活用	18
（4）UIターンの強化	19
（5）観光の振興	20
<b>基本目標5. 持続可能な社会基盤が整い安全な暮らしを守る島</b>	
（1）再生可能エネルギーを活かした地域振興	21
（2）循環型社会の構築	21
（3）公共交通体系の充実	22

- (4) 市道の管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 3
- (5) 上下水道事業の運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 3
- (6) 公営住宅の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 4
- (7) 消防・防災対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 4

**基本目標 6. 効率的で質が高く持続可能な行政力を備えた島**

- (1) ふるさと納税の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 5
- (2) 令和 8 年度予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 6

**○ 議案説明**

- (1) その他の議案・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 7

**○ おわりに**

- ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 7

# 施政方針

令和8年壱岐市議会定例会3月会議

## ○ はじめに

本日ここに、令和8年壱岐市議会定例会3月会議の開催にあたり、市政運営について所信の一端を申し述べますとともに、令和8年度当初予算案、市政の重要事項等について、その概要をご説明申し上げ、議員各位並びに市民皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

はじめに、2月8日執行の長崎県知事選挙において、新人の平田研氏が見事ご当選されました。ご当選されました平田研様に対し、心からお慶び申し上げますとともに、新しい長崎の顔として、その優れた行動力とリーダーシップを存分に発揮され、離島振興、人口減少対策を始め、様々な施策にご尽力いただき、新しい長崎県政の発展を期待しております。

また、大石賢吾様には、これまで知事としてその手腕を発揮いただき、本市においては特にジェットfoil「ヴィーナス2」更新の実現に多大なお力添えを賜るなど、本市の振興発展に並々ならぬご支援、ご指導を賜りました。ここに改めて、壱岐市民を代表し、深く敬意と感謝を申し上げます。

### (1) 令和7年度壱岐市長表彰の実施

2月27日、本年度の壱岐市長表彰として、「第30回高野山旗全国学童軟式野球大会」出場の勝本少年野球クラブの皆さん、

「第57回交通安全こども自転車全国大会」出場の 初山小学校 の  
皆さん、「全農杯2025年全日本卓球選手権大会」出場の <sup>ひらの ゆきと</sup>平野 幸人  
さん、「第33回全国中学校駅伝大会」出場の 郷ノ浦中学校男子駅伝部  
の皆さん、「第25回全日本中学生男子ソフトボール大会」出場の  
壱岐ブレイブスの皆さん、「第21回都道府県対抗全日本中学生男  
子ソフトボール大会」出場の <sup>えぐち ゆうえい</sup>江口 優恵育 さん、<sup>なかやま せら</sup>中山 星空 さん、  
「湘南藤沢カップJVA第16回全日本ビーチバレーボールU15  
選手権大会」出場の <sup>よこやま おうしろ</sup>横山 桜士朗 さん、<sup>つつみ ひびき</sup>堤 響紀 さん、<sup>おがわ けいご</sup>小川 桂虎  
さん、<sup>えぐち そうま</sup>江口 颯真 さん、「第97回選抜高等学校野球大会」出場の  
壱岐高等学校野球部 の皆さん、「第5回全国高校生図書館研究大会」  
出場の <sup>つつみ あかり</sup>堤 星璃 さん、「第37回全国健康福祉祭ぎふ大会」陸上競技  
出場の <sup>まるごめ のぶこ</sup>丸米 信子 さん、卓球競技出場の <sup>あびる はつこ</sup>阿比留 初子 さん、<sup>さかい けいこ</sup>酒井 桂子  
さん、<sup>こぞの ひろあき</sup>小園 寛昭 さんを表彰いたしました。

受賞された皆様に心からお慶び申し上げますとともに、今後のさらなるご活躍を期待いたします。

## （２）組織機構の見直し

本市を取り巻く社会環境の変化や多様化する市民ニーズに的確に対応するため、令和8年6月1日からの組織機構の見直しについて、本定例会に組織条例の改正を提案しております。

主な内容としましては、各部が担う役割と施策の方向性を市民にわかりやすく示すことを目的として、より市民生活に近い視点で支援を行うため「市民部」を「市民生活部」に、また妊娠・出産から高齢期までを一貫通貫で支援する体制を確立するため「保健環境部」を「健康未来部」に、さらに市民生活に欠かせない基盤を一元的に

守り抜くため「建設部」を「社会基盤部」に、それぞれ名称を変更することとしております。

なお、健康未来部には子育て支援課の業務を移管し、社会基盤部には環境衛生課の業務を移管することなど、所要の改正を行っておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

### **(3) 有人国境離島法の延長・改正に向けた取組**

令和8年度末で期限を迎える有人国境離島法につきましては、長崎県及び県内関係自治体並びに市内民間団体等と連携して、総決起大会の開催のほか、関係省庁や国会議員への要望活動等、同法の延長・改正の実現に向けて取り組んできたところです。

本年は、いよいよ期限が目前に迫ってきており、国会での同法の改正等に係る動きを注視しつつ、時宜に応じて長崎県等とも連携して必要な要望活動等を行うなど、同法の延長・改正に向けた取組に最後まで力を尽くしてまいりますので、市民皆様におかれましても、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### **(4) エンゲージメントパートナー制度の取組**

本市と企業、大学、自治体等が互いのビジョンに共感し、あるべき未来を共に創り上げるエンゲージメントパートナーは、2月末時点で60件となりました。

制度創設以降これまではパートナーの輪を広げ、連携のアイデアを考える基盤づくりの段階でしたが、次年度以降はお互いの特長や知見を活かし、具体的な共創事業を実践する社会実装の段階へと移行してまいります。あわせて、市民対話会や各種イベントを通じた

市民の皆様との交流機会を創出し、本市から多様な挑戦が生まれる取組へと発展させてまいります。

それでは、「第4次壱岐市総合計画」の基本目標に沿いまして、ご説明いたします。

## **基本目標 1. 希望の仕事があり稼ぐ力がある島**

### **(1) 農林業の振興**

農業については、水稻及び肉用牛を主体に、施設園芸、葉たばこ、露地野菜及び花き類の産地化に取り組んでおります。特に農地を次世代に引き継ぎ、地域農業を守るために策定した「地域計画」について適宜見直しを図ることにより、効率的な農地利用を推進し、地域の担い手への農地利用集積を進め、集落営農による農業の維持・発展を図ってまいります。

担い手対策については、引き続き地域農業の担い手の確保を図るとともに、農業経営の規模拡大等に適応したスマート農業を取り入れるなど、経営安定に向けた取組を進めてまいります。

施設園芸について、野菜、花き、果樹等は、高生産及び高収益が期待できる作物であり、特にアスパラガスについては、令和7年度平均反収2,128kgと19年連続県下トップの成績を維持しており、今後も収益性の向上、高品質及び安定生産の確立を図ってまいります。

また、露地作物では、馬鈴薯「<sup>いきこがね</sup>壱岐黄金」のブランド化と生産規模拡大に向け、引き続き支援してまいります。

畜産振興については、壱岐牛のさらなるブランド構築を目指して情報発信及びPRに努めるとともに、優良系統牛への更新、増頭及び肥育素牛の導入支援に加え、重点支援地方交付金を活用し、飼料高騰対策支援を継続して行ってまいります。そのような中、2月に開催された子牛市では、令和3年4月子牛市以来となる平均価格が80万円を超え、前回12月子牛市より約7万8千円高の82万5千円となりました。

有害鳥獣対策については、2月26日から3日間、島内関係機関に加え、対馬市及び対馬市猟友会のご協力により、イノシシの痕跡調査を実施し、新たに91基のくくり罠を設置したところであり、これまで設置していた罠を含め、合計120基の確認及び巡回活動を行ってまいります。今後も引き続き、タイワンリス等、有害鳥獣の根絶に向けて取り組んでまいります。

## **(2) 農地基盤の整備**

土地基盤整備事業については、木田地区において整備面積23.3haを農地中間管理機構へ集積を行い、受益者負担を伴わない新たな基盤整備事業の県内第1号として、令和3年度から区画整備工事に着工しており、約14haが完了しております。次年度以降、残りの区画及び農業用水パイプライン等の付帯設備の整備も進め、大区画化された農地での高収益作物への転換による農業所得の向上及び経営体の体質強化を図り、早期の効果発現を目指してまいります。

また、令和7年8月の豪雨による農地災害のうち、国庫補助の対象となった被災箇所163地区につきましては、令和7年度中に60

地区の復旧工事契約を目標に発注準備を進めている段階であります。今後は営農への影響を最小限に抑え、地域農業の早期再生を図るため、残りの復旧工事の早期発注及び着実な事業執行に努めてまいります。

### **(3) 水産業の振興**

令和7年4月から12月までの本市の漁獲量及び漁獲高を去年同期と比較いたしますと、漁獲量は14%増の1,428トン、漁獲高も25%増の20億5千万円と、漁獲量、漁獲高ともに増加しております。これは、主に大型クロマグロの漁獲枠が増枠配分されたことによるものでありますが、本市の水産業を取り巻く環境は、漁獲の減少、魚価の低迷、生産コストの高止まり、漁業者の高齢化並びに後継者不足等、依然として厳しい状況が続いており、さらにスルメイカ等の魚種によっては、厳しい漁獲制限にも直面しております。

このような中、漁業用燃油に対する補助や漁業用の箱に対して支援することとし、所要の予算を計上しております。

市単独事業としては、本市水産業の重点課題として捉えている磯焼け対策をさらに推進するため、壱岐市磯焼け対策協議会を中心とした積極的な取組を進め、藻場のクレジット化並びに販売についても引き続き取り組んでまいります。

また、意欲ある担い手の育成支援として、学生の漁業体験研修、新規研修期間中の支援、認定漁業者に対する機器導入等の補助等、水産振興策を引き続き実施してまいります。

国・県の事業としては、離島輸送コスト支援事業、離島漁業再生支援交付金、特定有人国境離島漁村支援交付金及び若年層の着業を促進

する漁業就業者確保育成総合対策事業に取り組んでおります。今後もこれらの制度を積極的に活用し、漁業・漁村の活性化に繋げてまいります。

栽培漁業については、壱岐栽培センターを活用し、漁業者の所得の安定・向上を図るため、本市周辺海域の実情に即し、効果的な種苗の生産・放流を行い、水産資源の維持・回復に取り組んでまいります。

#### **(4) 港湾・漁港の整備**

市営漁港については、労働環境の改善と漁船係留の安全を確保するため、初山漁港初瀬地区の簡易浮棧橋等の整備に係る費用を計上しております。また、漁港海岸については、施設の長寿命化を図るため、箱崎前浦漁港海岸恵美須地区の護岸の補修に係る費用を計上しております。

港湾・県営漁港について、芦辺港については年次計画に基づき順次整備を進めておりますが、本年度はイオン側のロータリー終点付近エリアの整備に係る費用を計上しております。

勝本港については、県において黒瀬地区の物揚場等の整備が進められており、市は埋立地の水路整備に係る費用を計上しております。また、壱岐新時代プロジェクトの一つでもある「水産資源を活用した観光・地域活性化の取組」として、埋立地を中核とした海業の拠点として、本年度は建物の新設及び既存施設の改築の設計に係る費用を計上しております。

#### **(5) 商工業の振興**

商工業を取り巻く環境は、長引く物価高騰による買い控えや飲食

機会の減少等での消費低迷に加え、人手不足も重なり、非常に厳しい状況にあります。

そのような中、食品・生活用品等の長引く高騰に悩む市民生活の下支えと、消費拡大による商工事業者支援により地域経済の活性化を図るため、重点支援地方交付金を活用して「消費下支えプレミアム付き商品券」を4月に発行いたします。今回は過去最大の100%のプレミアム率とし、2千円で4千円分の商品券をおひとり5セットまで購入いただけます。また、より多くの市民皆様にお買い求めいただけるよう、10万セット準備いたします。

生活応援給付金事業と連動した形で発行することとしており、給付金を元手にご購入いただけるものと考えておりますので、皆様のご理解とご活用をよろしくお願いいたします。

## **(6) 雇用の創出**

雇用の創出については、高校生向けに市内企業説明会を10月に実施し、身近にある企業の事業内容を知っていただくことで、将来的な市内就職の推進に取り組んでいるところです。

また、学卒者だけでなく島外の求職者向けに、9月に島内事業者とのマッチング及び関係人口創出等を目的とした「壱岐な職場見学モニターツアー」を実施しました。本市への移住を検討されている求職者14名の参加のもと、市内7事業所を見学したところです。ツアー実施後は、今後の本市への移住・就職の意向等の追跡調査を行い、効果検証を行うこととしております。

市としましては、引き続き県、労働局、商工会等の関係機関と連

携し、就職支援のほか事業承継等の推進に取り組んでまいります。

## **基本目標 2. すべての市民が自分らしく安心して健康に暮らせる島**

### **(1) 健康・医療体制づくりの推進**

本市では、市民皆様がいきいきと健やかで充実した生活を送れるよう、「壱岐市健康づくり計画」に基づき、各種健（検）診、相談、健康教室の実施に取り組んでおります。しかし、健康づくりを推進するためには、市民皆様をはじめ、地域の関係団体や関係機関が幅広い分野で連携協力して推進していくことが重要でありますので、今後とも市民皆様と行政が一体となった市民協働での健康づくり活動を展開し、健康寿命の延伸を目指してまいります。

また、令和8年4月から予防接種法に基づき、乳幼児の感染症対策を目的とし、妊娠中の方を対象としたRSウイルス母子免疫ワクチンを定期接種として実施いたします。本市においても安全・安心に接種ができるよう、壱岐医師会のご協力のもと、円滑な接種にむけ準備を進め、乳幼児の健康を守る取組を推進してまいります。

国民健康保険については、県が財政運営の責任主体であることから、所要額の通知を県から受け、令和8年度の予算編成を行ったところです。県に納付する国民健康保険事業費納付金は、被保険者数の減少に伴い総額では減少傾向にあるものの、一人当たりの医療費は引き続き高い水準で推移しており、国保財政の運営は依然として厳しい状況にありますが、物価高騰等の影響を勘案し、令和8年度

の従来の医療給付費分等の税率については、据え置くこととしております。

一方、令和8年度からは、子ども・子育て支援法等の改正により、新たに子ども子育て支援金事業納付金が追加されることとなっております。市としましては、国における地方税法関連法令の公布日以降に、税率の設定に伴う国民健康保険税条例の一部改正を行うこととしております。被保険者の皆様には新たな負担となりますが、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

後期高齢者医療については、運営主体である長崎県後期高齢者医療広域連合との連携のもと、被保険者皆様が適切な医療サービスを受けられるよう努めてまいります。

保険料については、2年に1度の見直しの年度であり、国保と同様、令和8年度から子ども子育て支援金事業納付金が追加となります。ご負担をおかけすることとなりますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

市としましては、引き続き早期発見、早期受診及び健康づくりの推進により、医療費の抑制に努めてまいりますので、国保・後期の被保険者に限らず、市民皆様のご協力をお願いいたします。

介護保険については、令和8年度は「第9期介護保険事業計画」の最終年度となりますので、事業の進捗状況の総点検を行い、令和9年度から11年度までの第10期計画策定の準備を進めてまいります。

## **(2) 高齢者福祉の充実**

高齢者が住み慣れた地域で健康かつ生きがいを持って暮らし続け

るためには、元気な時期からの介護予防、とりわけフレイル予防への継続的な取組が重要です。行政をはじめ、社会福祉協議会等の関係機関や地域が一体となり、高齢者を支える体制づくりを進めてまいります。

具体的には、老人クラブや高齢者サロン等の集いの場において、介護予防や健康作り、フレイル予防の重要性を啓発する教室や講座を、地域の様々な組織・団体の協力を得ながら、引き続き積極的に展開してまいります。

また、高齢者の健康・福祉増進を目的として、65歳以上の方へ高齢者入湯優待券を交付し、外出機会創出や交流促進を通じて心身の健康保持と生きがい作りを支援します。あわせて、敬老祝金・敬老事業、老人クラブ活動やスポーツ大会への支援、外出支援事業を実施するとともに、認知症高齢者を地域で支える見守り体制の強化を図り、安心して暮らせる地域づくりを推進してまいります。

### **(3) 障がい者福祉の充実**

障がい者福祉の充実については、地域社会において非常に重要な課題であり、行政としての責務でもあります。本市における障がい者(児)のための施策に関する基本的な計画である「第3次壱岐市障がい者計画」では、「障がいのある人が自立し、安心して生活できるまちづくり」を基本理念としており、ライフステージに応じたサービスの提供、社会参加の促進、やさしい社会の実現等、障がい者の方々が地域で自立した生活を安心して送ることができるようなまちづくりを、関係機関や地域住民と連携しながら進めてまいります。

また、毎年5月に開催されている「長崎県障害者スポーツ大会」に参加することで、障がい者の方々の健康維持や精神的な安定を図るとともに、社会参加の促進や自己肯定感の向上につなげ、生活の質が高まることを期待しております。

#### **(4) 地域共生社会の実現**

地域共生社会の実現については、地域住民の抱える課題が複雑化していることを踏まえ、支援を必要とする方々が地域で安心して暮らせるよう総合的、横断的な相談支援体制を充実させ、早期発見と早期解決に繋げて、地域包括ケアシステムの深化とともに、必要な支援が円滑につながるよう、医療、福祉、介護、地域が連携した包括的支援体制を整え、切れ目のない支援を進めてまいります。

また、社会福祉協議会や地域団体との協働を通じ、地域住民や多様な主体の参画を促進し、支えあいの力を高め、誰一人取り残さない安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。

#### **(5) 持続可能なコミュニティの形成**

本市では、壱岐市自治基本条例に基づいて、小学校区単位にまちづくり協議会を設置し、安心して暮らせる地域コミュニティの維持・活性化に取り組んでおります。

市としましては、全ての校区での早期のまちづくり協議会の設置に向けて、地域担当職員等と連携し、各地域のキーパーソンへの働きかけなども行いながら、地域住民の機運の醸成に努めるとともに、既に設置されている地域においては、組織運営アドバイザー等の積極的な活用を促しながら、まちづくり協議会のさらなる活動の活性

化を図るための取組を強化してまいります。

## **基本目標 3. 未来を育む子育てと学びの島**

### **(1) 学校給食費の無償化**

令和5年度から学校給食費支援事業として、子育て世帯に係る経済的負担の軽減や、安心して子育てができる環境整備のために、小・中学校の給食費の一部助成を行ってまいりましたが、小学校については、令和8年度から国の給食費負担軽減交付金が創設されたことによりまして、支援の拡充を行ってまいります。具体的には、国の交付金で不足する額について重点支援地方交付金を活用し、小学校給食費の完全無償化を行います。

また、中学校については国の支援はありませんが、重点支援地方交付金を活用することで、こちらにつきましても、令和8年度については無償化を行います。

これにより、令和8年度は小・中学校において給食費は無償化となりますが、継続していくためには、国からの支援が必要不可欠となりますので、今後も中学校給食費に係る支援について、国に要望を行ってまいります。

### **(2) 学校教育の充実**

保護者が不安なく、楽しく子育てができるよう、壱岐市の全ての小・中学校が、子どもの成長に応じた質の高い学びを保障する環境を目指して、授業改善による学力向上、特別支援教育の充実、不登校等の個に応じた教育支援の充実を重要施策として取り組んでおります。

具体的施策には、「授業改善を目的とした各種研修会の実施や学校訪問による直接指導の実施」、「ニーズ・重要性が年々高くなっている特別支援教育を充実させるため、特別支援教育支援員の配置及び特別支援教育に係る研修実施」、「児童生徒が自発的・主体的に成長・発達できるよう生徒指導に係る研修会の開催・教育支援教室「太陽」の機能充実・スクールカウンセラー派遣・スクールソーシャルワーカーの充実」の3点を重要施策として、学校教育の充実を図ってまいります。

### **(3) こども誰でも通園制度の実施**

こども誰でも通園制度は、全てのこどもの成長を応援し、こどもの良質な生育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、保護者の多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化するものです。具体的には、現行の幼児教育・保育に加え、0歳6か月から満3歳未満で保育所等に通っていないこどもを対象に、月10時間までの利用可能枠の中で、保護者の就労要件を問わず、時間単位等で柔軟に利用できる新たな制度です。

令和7年度に子ども・子育て支援法に基づく地域子ども・子育て支援事業として制度化、令和8年度から同法に基づく新たな給付として規定され、全国の自治体において実施されます。本市では制度開始時点において、石田こども園での事業実施を予定しており、利用料につきましては、国が標準として示している1時間あたり300円を予定しております。

本制度は、児童福祉法において乳児等通園支援事業として規定されており、新たに条例を制定する必要があることから、今回、議案

を提出しておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

#### **（４）妊娠・出産支援**

令和５年度から本市独自の支援策である「生まれてくれて“ありがとう”」事業として、市内で製造された３万円相当の出産記念品の贈呈を行い、こどもの健やかな成長を応援してまいりましたが、妊娠・出産の次なる支援事業について検討を重ねた結果、今後については、市内に住所を有し、医療的な理由で市外分娩取扱施設での健診や分娩が必要となる妊婦を対象に、交通費及び宿泊費の助成を行うこととし、所要の予算を計上しております。

金銭的負担の軽減を図ることで、安心して妊娠・出産を迎えていただく、また次の妊娠を望む場合も金銭的負担を理由にためらうことなく、安心して家族計画を立てられることで、出生率の増加につなげたいと考えておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

#### **（５）婚活支援**

令和５年の人口動態調査によりますと、本市の婚姻率は２．１％と全国の３．９％、長崎県の３．２％を大きく下回っており、これは若者の流出に伴って、新たな出会いの場や機会自体が少ないことが要因と考えております。

「第４次壱岐市総合計画」に掲げる「２０５０年人口２万人」の維持のためにも、独身男女の出会いの場の創出支援に取り組むことが重要であると考え、長崎県とも連携して１８歳以上３９歳以下の独身者に対して、県のお見合いシステムや民間のマッチングシステムへの登録料の補助を行うことで、若者の出会いを応援する取組を

推進しております。

本年度も引き続き、長崎県婚活サポートセンター等と連携した支援事業を進めるとともに、めぐりあいイベントの開催支援等を通じて、若者の出会いの場や機会の創出に努めてまいります。

#### **（６）壱岐市立郷ノ浦図書館の移転**

1 1月から移転準備のため休館している郷ノ浦図書館については、移転先となる壱岐の島ホールの現106会議室の改修工事が完了し、現在、蔵書の搬出及び配架作業等、本年春のオープンに向けた開館準備を進めているところです。

開館日等については決定次第、広報誌及びホームページ等を通じて、速やかに市民の皆様へお知らせすることとしております。移転後も、多くの市民皆様に広くご利用いただけるよう、今後も準備を進めてまいります。

## **基本目標４．地域の価値と新しい人の流れが未来をつくる島**

### **（１）カルチャーターミナル壱岐プロジェクトの推進**

新しい長崎県づくりのビジョン「未来大国」の実現に向け、本市では長崎県未来大国づくり応援補助金を活用し、令和7年度から9年度までの3か年事業として「カルチャーターミナル壱岐プロジェクト」を推進しています。

人口減少・超高齢化が深刻さを増すなか、「第4次壱岐市総合計画」に掲げる「2050年人口2万人」の維持という目標を達成す

るためには、19歳から35歳のくびれゾーンにあたる若年層の人口流入・定着が不可欠であり、これにより担い手を確保し、経済の活性化が図られる自律的好循環を生み出さなければなりません。

事業2年目の取組としては、本市の持つ豊かな資源を最大限に活用して人材育成・教育プログラムを開発し、「学び」を切り口に島をまるごとキャンパスとして、大学生や企業人材等の交流人口、二地域居住人口の拡大を図るとともに、新たなビジネスの創出を支援する仕組みを構築し、中長期的な人口増加につながる取組を推進してまいります。

## **(2) 文化・スポーツの振興**

昨年開催した「ながさきピース文化祭壱岐市大会」では、市民皆様の主体的な関わりと事業への取組により、市民同士の繋がりが深まり、これまで守り育ててきた文化及び伝統の大切さが再認識され、本市の文化を次世代へ繋げていくための契機になったものと考えております。今後も、壱岐ならではの文化や歴史を活かすため、市内文化関係団体の一本化による人づくり・基盤づくりを進めるとともに、「ながさきピース文化祭」で実施した俳句に関連する事業を展開してまいります。

また、壱岐市島外スポーツ団体等誘致促進助成金は、これまで補助対象を文化関係団体については高校生までに限っていましたが、文化活動を行う一般団体も補助対象へと拡大することとしております。本市で文化活動やスポーツ合宿等を実施する関係団体に対して、滞在費の一部を助成することで、交流人口の拡大や宿泊施設をはじめ

めとした関係施設の利用拡大等の活性化を図ってまいります。

スポーツ分野については、2月に長崎県スポーツ表彰及び長崎県スポーツ教育長顕彰が発表され、壱岐少年サッカークラブの皆さんが長崎県社会体育優良団体賞を、壱岐ブレイブスの皆さんが長崎県スポーツ奨励顕彰（団体の部）を受賞されました。こうした近年のこどもたちの活躍を大変うれしく頼もしく思いますとともに、引き続き各種補助事業による支援や市内関連施設の環境整備を進めてまいります。

また、「壱岐ウルトラマラソン」、「ツール・ド・壱岐島」、「新春マラソン大会」等のスポーツイベントの開催、小学生から大学、実業団、プロチームまでの合宿誘致や大会開催等、スポーツによる地域振興を継続的に展開してまいります。特に「壱岐ウルトラマラソン」は、ポータルサイト「ランネット」の2025年ウルトラマラソン部門において89.7点の高評価を獲得し、初めて全国第1位の評価を得ました。次回大会でも市民皆様のご理解とご協力を頂きながら、参加者も関係者も満足し、楽しめる大会を目指し、運営に取り組んでまいります。

### **（3）歴史文化資源の保全・活用**

11月に開催された国の文化審議会無形文化遺産部会において、令和7年度ユネスコ無形文化遺産への新規提案候補として神楽及び温泉文化が選定され、3月末までにユネスコ事務局に提案書が提出されることとなっております。審査の優先順位は神楽、温泉文化の順とされ、神楽については本市の「壱岐神楽」も構成一覧の対象となっております、

令和10年度の登録に向けて関係機関との連携をより強化するとともに、温泉文化については令和12年度の登録に向けた国や関係機関の今後の動向を注視してまいります。

また、昨年実施した原の辻遺跡の発掘調査では、全国的にも10数例しか見つかっていない貴重な青銅鏡の破片をはじめとする6万7千点を超える遺物が出土しております。次年度も引き続き調査を実施し、原の辻遺跡を中心に弥生時代の壱岐島の実態解明を進めてまいります。

#### **(4) UIターンの強化**

「第4次壱岐市総合計画」に掲げる「2050年人口2万人」の維持に向けては、UIターンのさらなる増加を推進する必要があります。情報発信の強化とともに、移住相談会や各種イベント開催のほか、ワンストップ相談・支援窓口の体制強化に努めます。また、移住に係る費用等の支援については、より効果が高まるように適切な見直しなどを実施してまいります。

さらに、移住を検討している人の行動を後押しするため、国も推進している二地域居住の促進を図り、ふるさと住民登録制度の実装も見据えて、本市を拠点とした多様な暮らし方や働き方の機会の情報発信に努めてまいります。

加えて、移住者の確保を図るための空き家バンクの運営や良質な住まいの提供に関して、空き家等管理活用支援法人の制度を活用し、空き家の所有者と移住者等の活用希望者との適切なマッチングなどを行いながら、空き家のさらなる有効活用を促進してまいります。

## (5) 観光の振興

新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の観光業は大きな打撃を受け、依然として厳しい状況が続いております。現状、航路航空路の乗降客数は、徐々に回復傾向にある中で、物価及び燃油高騰の影響をはじめ、旅行者の価値観やニーズの多様化等により、本市観光業を取り巻く環境も変化しております。

こうした状況の中、本市では滞在型観光促進事業を活用した長崎しま旅促進事業、西日本旅客鉄道株式会社及び九州郵船株式会社との共同企画として実施する壱岐島 P r e m i u m 往復乗船券事業、対馬市との連携による壱岐・対馬周遊ツアー送客支援事業等、関係事業者及び関係団体等と連携し、各種の誘客施策に取り組んできたところであり、本年度においても、国・県の交付金等を活用した即効性の高い施策に、引き続き取り組むこととしております。

また、壱岐行き教育旅行推進事業費補助金をはじめ、本市独自の補助メニュー活用による教育旅行誘致並びにインバウンド誘客の取組等を積極的に進めることで、国、県等の直接的な支援策のみに頼ることなく、安定した観光需要の確保を図ってまいります。

本市では、昨年4月に「第4次壱岐市総合計画」に掲げる主要施策に基づき、「壱岐市観光戦略」を策定したところであり、①高付加価値な観光地域づくり、②受入環境の充実、③セールス・プロモーションの充実を基本戦略の3本柱として、各種施策に取り組んでまいります。

観光は本市の基幹産業の一つとして、交流人口・関係人口拡大の

入口とも言える重要な分野であると認識しており、今後も壱岐市のファンを増やし、「選ばれる島」であり続けるため、市民皆様、観光関係事業者及び関係団体の皆様と一丸となり、観光振興を図ってまいります。

## **基本目標 5. 持続可能な社会基盤が整い安全な暮らしを守る島**

### **(1) 再生可能エネルギーを活かした地域振興**

本市は、国内初となる気候非常事態宣言を発出し、2050年までに市内のエネルギーを再生可能エネルギーに完全移行する決意を示しております。島内完全再エネ化を実現するため、不安定な再エネを水素貯蔵と組み合わせて、安定的に活用するための実証研究につきましては、市民の生活に欠くことのできない医療分野での実証試験に着手することとしております。このことにより、全国的にも厳しい状況にある公立病院経営における経費削減と、非常時に対応できる医療体制の強靱化の実現に繋げてまいります。

また、より一層の再エネ導入を促進するための施策として、令和7年度から取り組んでいる市内の住宅・事業所等への太陽光発電設備等の導入に対する支援等も継続し、市民生活に係る脱炭素化の推進にも注力してまいります。

### **(2) 循環型社会の構築**

さらなる循環型社会の構築に向けて、一般廃棄物の適正な処理に努めてまいります。壱岐市クリーンセンター及び壱岐市汚泥再生処理

センターについては、施設稼働開始から13年が経過しておりますので、毎年の定期補修を実施し、施設の長寿命化を図ってまいります。

あわせて、ごみの減量化及びリサイクル推進のため、4月からトレイ類に加えて新たにシャンプーや洗剤等のボトル類をリサイクル品として回収することとしているところであり、今後、市民皆様が分別に戸惑われることがないように周知に努めてまいります。

また、環境にやさしい社会を構築していくうえで、長崎県が推進する「動物殺処分ゼロプロジェクト」の実現に向けて、公益財団法人どうぶつ基金様、長崎県及び民間ボランティア団体等と連携しながら、飼い主のいない猫等の不妊去勢手術を令和6年9月から令和8年1月末までに3,735頭の猫に実施してまいりました。

手術が必要な猫も少なくなってきたことから、不妊去勢手術は3月をもって終了することとしております。手術費用を負担していただきましたどうぶつ基金様に対しましては、厚くお礼を申し上げます。今後、殺処分される動物が増えることがないように、飼い方や餌のやり方等に対する普及啓発にも努めてまいります。

### **(3) 公共交通体系の充実**

持続可能な地域交通ネットワークの構築に向けた「壱岐市地域公共交通計画」については、パブリックコメントでお聞きしたご意見を踏まえ、策定作業を進めているところです。本計画の方針を基に、来年度には陸上交通における路線バスの再編及び区域運行・デマンド交通への転換等の具体的な施策の実行計画となる「利便増進計画」を策定し、令和9年度から段階的に施策を実行していく予定として

おります。

今後、国・県の補助事業等を最大限に活用し、利便性・効率性が高い、持続可能な公共交通体制の構築に向け、引き続き取り組んでまいります。

#### **(4) 市道の管理**

市民生活や経済活動を支える延長約1,328Kmに及ぶ市道の除草作業等について、各自治公民館のご理解とご協力をいただいておりますことに対し、厚くお礼と感謝を申し上げます。

令和8年度についても、バックホウ、タイヤショベル、ダンプトラック等の補助を行い、1級・2級の幹線道路については、年次的に法面等の一部に張りコンクリートの施工又は防草シートの設置を実施することで、市道における適正な維持管理と除草作業に係る市民皆様の負担軽減を図ってまいります。

#### **(5) 上下水道事業の運営**

水道事業の運営については、公営企業として将来にわたり持続可能な事業経営を維持するため、アセットマネジメントをベースとする施設更新計画を基本とし、老朽設備の更新及び維持管理に努めてまいります。

令和8年度以降についても水道施設運転監視・保守点検業務を委託し、機器類等の予防保全的な維持管理により長寿命化を図り、重大事故を未然に防ぐことでコスト縮減を図ってまいります。

下水道事業については、下水道整備区域・漁業集落排水整備区域において、さらなる加入促進を図るとともに、施設の維持管理を安

定的に行っていくため、「ストックマネジメント基本計画・機能保全計画」に基づき、老朽化する施設の計画的な維持管理を実施し、施設の長寿命化を図ってまいります。

合併処理浄化槽設置整備事業については、令和8年度も国、県の補助制度を活用し、70基の設置補助を予定しております。

今後も汚水処理施設の整備により、生活環境や住居環境の改善、海域や河川等の公共用水域の水質保全を図ってまいります。

#### **(6) 公営住宅の整備**

公営住宅については、国の社会資本整備総合交付金事業を活用し、現在、お茶屋敷団地の改修工事を実施しております。今後も「壱岐市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、計画的に整備を実施してまいります。

#### **(7) 消防・防災対策**

令和7年中の災害発生件数は、火災発生件数25件、救急発生件数1,810件であり、火災件数は令和6年と比べて2件減少、救急件数は232件減少しています。

火災予防については、3月1日から7日まで春季全国火災予防運動が実施され、さらに5月まで林野火災予防の取組を行います。この時期は、空気が乾燥して火災が発生しやすくなりますので、市民皆様には、火の取扱い等、十分ご注意をお願いいたします。草木を焼却する場合は、必ず消防署に届出を行い、消火の準備を行うとともに、火が消えたことの確認を徹底していただくようお願いいたします。

近年の災害は、激甚化、頻発化の傾向にあります。いつ発生するか分からない自然災害等に対し、避難所における環境改善のため、今回、国の交付金を活用した資機材の整備に係る予算を計上しております。また、市の組織変更及び指定避難所の見直し等に伴い、今回「壱岐市地域防災計画」を修正いたします。

## **基本目標 6. 効率的で質が高く持続可能な行政力を備えた島**

### **(1) ふるさと納税の推進**

ふるさと納税については、壱岐出身の皆様をはじめ本市を応援していただける全国の方々から寄附をいただいております。本市の重要施策実現のための貴重な財源となっております。令和7年度の寄附額は約7億4千万円となり、対前年比で約5千万円の減となる見込みであります。

ふるさと納税を取り巻く環境は、規制の厳格化のみならず、昨今の物価高騰による生活必需品の人気の高まりや返礼品送料の値上げ等、厳しい状況にある中、9月には県内自治体が2年間の認定取り消しになるなど、大きな衝撃を受けたところであり、改めて制度を遵守するとともに、適切に取り組んでまいります。

引き続き「第4次壱岐市総合計画」に掲げる年間寄附額30億円の達成に向けて制度を最大限に活用し、産業振興による返礼品の開発や安定供給等を図りながら、さらなる寄附獲得に向けて取り組んでまいります。

企業版ふるさと納税については、これまでに株式会社ファウンテック様はじめ8社の企業様から1,820万円のご寄附をいただいております。今後も、本市をご支援いただいております企業やゆかりのある企業への案内はもとより、エンゲージメントパートナー制度と併せて、関係企業への働きかけを行うなど、積極的に本制度を活用してまいります。

## **(2) 令和8年度予算**

国の令和8年度の地方財政対策については、物価高が続くとともに、社会保障関係費や人件費の増加等が見込まれる中、地方公共団体が様々な行政課題に対応しながら、行政サービスを安定的に提供できるよう、地方が安定的な財政運営を行うために必要となる一般財源総額について、経済・物価動向等を適切に反映し、令和7年度地方財政計画の水準を下回らないよう、実質的に同水準を確保することを基本として、地方財政対策を講じるとされております。

このような中、本市の財政状況は、令和6年度末一般会計の市債現在高は、これまでの財政健全化の取組により229億4,013万8千円（対前年度比8億5,436万9千円減）と減少し、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく健全化判断比率も、国の示す基準を下回ってはいるものの、経常収支比率については97.9%と、市政施行後の最高値となっており、物価高騰をはじめとする現下の社会経済情勢の影響を強く受けた形となっております。

本市の財政構造は、依然として市税をはじめとする自主財源の歳入全体に占める割合が低く、収入の多くを地方交付税や国庫支出金

に依存している状況でありますので、引き続き持続可能な財政基盤の確立を推し進めるとともに、「第4次壱岐市総合計画」における「一人ひとりが主役のまちづくり」を目指す政策の着実な展開を図るための予算編成を行っているところであります。

なお、令和8年度の一般会計の予算規模は247億5,000万円（対前年度当初予算比△4億7,000万円 1.9%減）、特別会計を含めた予算規模は325億9,438万2千円（対前年度当初予算比△5億8,698万6千円 1.8%減）となっております。

次に、議案関係についてご説明いたします。

#### **（1）その他の議案**

本日提出した案件の概要は、令和7年度予算の専決処分の報告1件、条例の制定・一部改正に係る案件6件、計画の策定1件、市道路線の認定に係る案件1件、予算案件14件であります。

何とぞ慎重にご審議をいただき、適正なるご決定を賜りますようお願い申し上げます。

#### **○ おわりに**

以上、今日までの取組を振り返りながら、市政運営に対する所信の一端と新年度の事業内容等について申し述べましたが、今後も様々な行政課題に誠心誠意全力で対応しながら、財政の健全化に努め、壱岐新時代の実現のため、市民皆様が幸せを実感できる壱岐市の未来を皆様とともに創ってまいります。

結びに、議員各位並びに市民皆様のご理解とご協力を賜ります  
ようお願い申し上げます、令和8年度の施政方針といたします。

令和8年3月3日

壱岐市長 篠原 一生